

資料編

池田町 第五次総合計画



1 めざすまちの姿マトリクス

縦軸に7つの分野、横軸に6つの理念を置き、マトリクスの形にめざすまちの姿（生活課題・行政課題）を整理すると次のようになります。

池田町生活課題マトリクス(6つの理念、28の生活課題と10の行政課題)

分野	理念 安心 災害や将来の生活に対して不安がなく暮らせるまち	生きがい 世代・性別・傷がいの有無等にかかわらず、いきいきと暮らせるまち	未来 子どもや若者が未来に対して夢や希望をもてるまち	快適 豊かな自然環境が保全され、心地よく暮らせるまち	健全 効率的な行政経営がなされ、健全な財政となっているまち	活力 地域の資源が活かされ、人や産業に活気のあるまち
人口減少と少子高齢化社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●年金制度が保持され、老後の生活が保障されている ●福祉の町として、福祉サービスの体制整備がされている ●誰もが心配なく子どもを産み育てることができる ●高齢者介護のための施設が十分に提供されている ★高齢者が孤立感や孤独感なく、安心して毎日暮らすことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代の経済的負担が軽減されている ●退職世代の能力や経験が地域福祉の活動に活かされている 	<ul style="list-style-type: none"> ★人々の流入が進み、継続して池田町に定住している 			
地方分権・地域主権と住民自治の進展	<ul style="list-style-type: none"> ●犯罪がなく暮らすことができる ●災害発生直後と、復興時とそれぞれで適切な支援が行なわれるようになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域のつながりが強く、互いに声を掛け合い、人のつながりがあったかいまちである 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ぐるみで子どもたちが楽しみ、活気づく取り組みや行事がある 		<ul style="list-style-type: none"> ●地域によって公共サービスの格差がない ●行政だけではなく、町民が主役となったまちづくりがされている 	<ul style="list-style-type: none"> ★地域のために働きたい人が働く場所があり、町民が協力したまちづくりがされている ★退職世代や若い人がまちづくりに積極的に参画している
地域医療の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●身近で安心して医療を受けることができる ★人生の各段階において、心身ともに健康であると認識している 					
環境に対する意識の浸透				<ul style="list-style-type: none"> ●町民のマナーがよく、ごみが散乱していない ●ゴミ出し方法が町民にとって分かりやすく、ゴミ収集に負担がない ●絶滅が心配されているハリヨが住めるくらい、川や池の水がきれいである ●自然が残り、子どもたちが自然とふれあうことができる 		
観光交流と地域産業の進展	<ul style="list-style-type: none"> ★誰でも不安や不便を感じずに行きたいところへ行くことができている 			<ul style="list-style-type: none"> ●自然が豊かで、人情があり、静かで落ち着きがあり、ほっとできる町である ★地域で作った農産物を地域内で消費するという循環ができている 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市計画区域・農地ともよく整備されており、利用されている 	<ul style="list-style-type: none"> ★大企業や特色ある企業が進出することでにぎわいと雇用が生まれ、若者も地元で生活している ★広域的なエリアのなかで池田町がにぎわいを生み出す核となっている
人づくりと教育環境の充実		<ul style="list-style-type: none"> ●子どもや女性が安心して町を歩けるように地域ぐるみの取り組みがされている ●一人ひとりの子どもが地域で大事に育てられている ●先生が生徒と真剣に向き合い、お互いの距離が近く信頼関係があり、非行が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが将来の夢や目標を持ち、意欲的である ★大人と子どものふれあいがあり、子どもにモラルがある ●教育環境が整っていて、勉強やスポーツに打ち込める 	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな自然環境を生かした教育が行われている 		
健全財政の維持確保					<ul style="list-style-type: none"> ●限られたお金でメリハリをつけ、より必要なことに使われるようになっている ●町民から信頼される議会運営がなされている ●池田町の財政が未来にわたって借金だらけにならず健全である 	

※住民アンケートによる28の生活課題に、10の行政課題(★印)が町長判断により追加され、合計38の生活課題と行政課題を、めざすまちの姿として掲載しています。

2 施策マトリクス

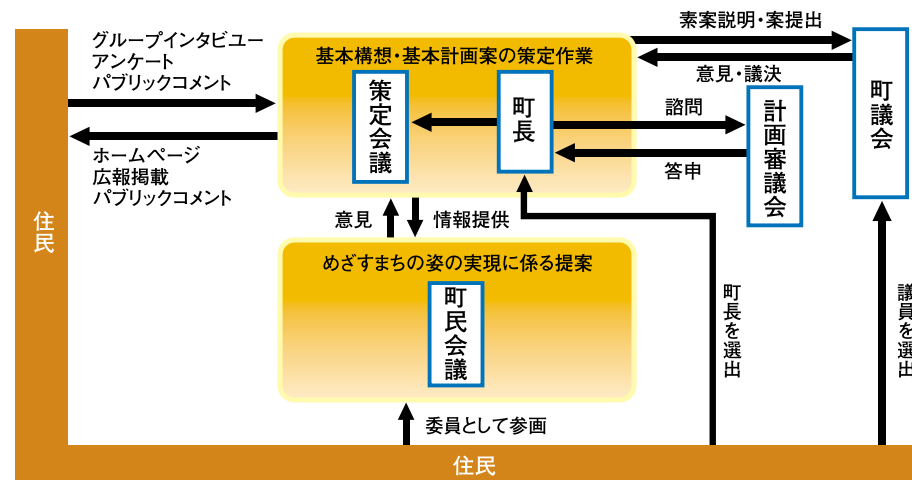
縦軸に7つの分野、横軸に6つの理念を置き、マトリクスの形に施策を整理すると次のようになります。

池田町 施策マトリクス (6つの理念、7つの町政経営の方針、38の施策)

分野	理念 安心 災害や将来の生活に対して不安がなく暮らせるまち	生きがい 世代・性別・傷がいの有無等にかかわらず、いきいきと暮らせるまち	未来 子どもや若者が未来に対して夢や希望をもてるまち	快適 豊かな自然環境が保全され、心地よく暮らせるまち	健全 効率的な行政経営がなされ、健全な財政となっているまち	活力 地域の資源が活かされ、人や産業に活気のあるまち
人口減少と少子高齢化社会への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●年金制度の安定した運営を図る ●「福祉の町」として福祉サービスの体制を整備する ●安心して子どもを産み育てられる環境をつくる ●高齢者の地域ケア施設を確保する ●高齢者が地域のなかで暮らせる環境を整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代の安定的な家庭づくりを応援する ●生涯現役として地域での貢献や活動を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口流入を促進し、定住できる環境を整備する 			
地方分権・地域主権と住民自治の進展	<ul style="list-style-type: none"> ●犯罪を防止する ●強固な防災体制の構築を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な地域での交流関係を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの健やかな成長を支える地域づくりを推進する 		<ul style="list-style-type: none"> ●暮らしに密着した公共サービスへの町民の満足向上に努める ●町民発意による、協働のまちづくりを推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の課題を解決するための産業を創出する ●退職世代や若者が積極的に参画できるまちづくりを推進する
地域医療の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●身近で安心できる医療体制を整える ●心身の健康づくりを促進する 					
環境に対する意識の浸透				<ul style="list-style-type: none"> ●ゴミが散乱していない美しいまちづくりを進める ●町民と町の協力により、リサイクルを促進する ●水生生物が生息できる水辺環境づくりをする ●子どもが自然とふれあえる環境づくりをする 		
観光交流と地域産業の進展	<ul style="list-style-type: none"> ●町民が安全に移動しやすい環境を整備する 			<ul style="list-style-type: none"> ●自然が豊かで、人情が生まれるまちづくりをする ●地産地消を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ●効果的な土地利用を促進する 	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用の場を確保し、若者の定住を促進する ●西濃地域における交流創造拠点としての基盤を整備する
人づくりと教育環境の充実		<ul style="list-style-type: none"> ●地域ぐるみの安全対策を推進する ●一人ひとりの子どもが地域で大切に守り育てられる環境をつくる ●先生と児童・生徒の信頼関係を構築する 	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの学ぶ喜びを育み、生きる力を養う ●青少年を育む地域づくりを推進する ●勉強やスポーツに打ち込める教育環境を充実する 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境を活かした教育を推進する 		
健全財政の維持確保					<ul style="list-style-type: none"> ●行政経営を推進する ●町民の議会活動への理解を促進する ●池田町財政の健全化を図る 	

3 計画策定のあゆみ

● 計画策定の体制



● 計画策定の流れ

池田町では、地域主権の時代における総合計画の策定にあたり、メリハリのある町政運営を町民とともに進めていくために、下記のとおり、策定を進めました。

(1) 明確な「めざすまちの姿（成果目標）」の設定

総合計画の策定にあたり、多様な主体によるまちづくりのための活動の成果目標を、まずははっきりさせることから始めました。

① グループインタビュー

池田町の町民53名に数人のグループ単位で集まっていただき、インタビューを実施しました。それに先立ち、各地区公民館に備えた提案箱などに寄せられた意見提案（210件）や町長の地区懇談会での意見提案（315件）などと合わせ、グループインタビューでの意見（636件）などすべて集約したうえで、意見の重複などを整理し、105件の生活課題を洗い出しました。

② アンケート調査

グループインタビューでお聞きした町民の声から得られた課題を整理し、より多くの町民700名の方にアンケート調査を行い、より重要な課題はなにか、また、めざすべきまちの理念的な方向性はなにかをお聞きしました（平成17年、有効回収率94.3%）。

③ めざすまちの姿の設定

町民が特に重要と考えている28個の重要なまちづくりの課題（生活課題）と、6つの目指すべき方向性が明らかになりました。その後、10個の行政課題が追加され（平成18年に4つ、平成20年に4つ、平成21年に2つ）、合計38個のめざすべきまちの姿が決定しました。

(2) 成果を共有し、確認できる「ものさし（指標）」の設定

めざすまちの姿の達成状況を測るための「ものさし（指標）」、指標の5年後と10年後のめざす水準（目標値）と多様な主体に期待される役割の程度（役割期待値）について設定しました。

① まちづくり指標の設定

成果目標が実現に近づいているかどうかを測るための指標を、まちづくりワークショップ委員会にて作成することをお願いしました（平成19年）。38個の課題に対して、107個の指標がつけられました。

② まちづくり指標の現状値

既存のデータによって把握されていなかった数値や主観的な町民の意識に関する指標については、アンケートによって、それぞれの指標の現状値を明らかにしました（平成20年）。

③ まちづくり指標の目標値（5年後／10年後）の設定

5年後・10年後に、池田町において現実的に可能と思われる範囲でめざすべき水準と考えられる数値を、アンケートによって、町民参加推進会議委員と行政職員と当事者・関係者に回答していただくことをお願いしました。その集計結果の平均値を目標値として設定しました。

④ 多様な主体に期待される役割の大きさ（役割期待値）の設定

池田町のまちづくりを進めていく主体者として「個人・家庭」「市民活動団体」「企業・事務所」「学校」「町」「県・国」の6つを挙げ、めざすまちの姿（生活課題・行政課題）を実現するために期待される程度の大きさを設定しました。

(3) 「めざすまちの姿」を取り巻く背景と現状課題や施策体系の検討

① めざすまちの姿として設定された生活課題・行政課題に対し、行政の立場として、どう取り組むかという施策方針や体系について、池田町庁内で策定会議を設置し、整理・検討しました。背景や現状課題については、全庁的な取り組みとして、各課にて、検討を進めました。

● 計画策定の経緯（一覧）

		議会	計画審議会	
平成17年度	平成17年	5月		
		7月		
		11月		
平成18年度	平成18年	1月～2月		
		6月		
		7月		
		11月		
平成19年度	平成19年	12月		
		2～5月		
		6月		
		7月	議会に指標を説明	
		8月		
平成20年度	平成20年	10～11月		
		12月		
		1月		
		6月		
平成21年度	平成21年	10月		
		11月		
		2月		
		5月	第1回計画審議会（委員委嘱、第四次総合計画の総括、第五次総合計画の進め方）	
		6月		
		7月	第2回計画審議会（第五次総合計画の特徴と意義、構成、紙面イメージ）	
		8月		
		9月	第五次総合計画案の説明（第1回）	第3回計画審議会（第五次総合計画の主項目、財政計画）
		11月	第五次総合計画案の説明（第2回） 第五次総合計画案の説明（第3回）	
		1月	第五次総合計画案の説明（第4回）	第4回計画審議会（第五次総合計画原案の検討）
平成22年度	平成22年	2月	第5回計画審議会（第五次総合計画案の諮問） 第6回計画審議会（第五次総合計画案の答申）	
		3月	第五次総合計画案を3月議会に上程	

庁内	町民参加
	各地区公民館などに提案箱を備え、意見、提案を募集
	町長の地区懇談会にて意見提案を募る
	グループインタビューを実施（中学生から高齢者まで総勢53名）
	アンケート調査（池田町在住で18歳以上の町民700人を対象、回収率94.3%）
	第5回まちづくりワークショップ（追加した方がよい生活課題について）
職員研修会「成果志向の行政経営の考え方」	
	第1回まちづくりワークショップ委員会（委員会の役割と進め方）
	第2回まちづくりワークショップ委員会（役員選出、部会編成、指標づくり模擬）
	まちづくりワークショップ委員会部会（指標づくり） 第1部会（3回） 第2部会（4回） 第3部会（4回） 第4部会（4回）
	第3回まちづくりワークショップ委員会（指標の共有と決定）
職員研修（ロジックモデル作成、現状値調査、2回）	
職員フォローアップ研修（ロジックモデル中間検討）	
職員ロジックモデルヘルプデスク	
	第4回まちづくりワークショップ委員会（現状値調査報告と意見交換）
主観指標の現状値把握アンケート実施	第5回まちづくりワークショップ委員会（主観指標の現状値アンケート案の検討）
	第1回町民参加推進会議正副部会長会議 第1回町民参加推進会議全体会（委員委嘱、役員選出、生活課題の追加）
職員研修（実務研修、幹部級）（ロジックモデルの意義と活用）	第2回町民参加推進会議副部会長会議
	第2回町民参加推進会議全体会（追加した生活課題の指標） 第3回町民参加推進会議正副部会長会議 第3回町民参加推進会議全体会（主観指標アンケート）
	第4回町民参加推進会議全体会（めざそう値・役割期待値の設定）
職員説明会（めざそう値・役割期待値アンケート）	第1回町民参加推進会議全体会（めざそう値・役割期待値アンケート）
第1回策定会議（ロジックモデルと事業編成） 第1回策定会議部会長会議（ロジックモデルの点検と施策体系の検討）	第2回町民参加推進会議全体会（今後の進め方） 第1回町民参加推進会議部会（多様な主体にできること検討）
第2回策定会議部会（ロジックモデルの点検と施策体系の継続検討） 第1回策定会議部会長会議（施策体系の共有） 第2回策定会議（施策体系案の確定）	第2回町民参加推進会議部会（多様な主体にできること継続検討）
	第3回町民参加推進会議全体会（第五次総合計画のイメージ意見交換）